



ネモフィラ(イングランドの丘)

わたしたちのまちの 景況レポート No. 29

2022 年 1～3 月期実績・2022 年 4～6 月期見通し

今日も 楽しい おつきあい



淡路信用金庫

調査概要

- 調査時期 : 2022 年 1～3 月期実績・2022 年 4～6 月期見通し
- 調査方法 : 当金庫の営業店職員による「聴取り」調査
- 調査企業数 : 673 社

製 造 業	151 社	卸 売 業	101 社	小 売 業	115 社
サービス業	116 社	建 設 業	141 社	不 動 産 業	49 社
- 調査地区 : 当金庫事業地区（洲本市、淡路市、南あわじ市、明石市、神戸市、芦屋市、西宮市、
 尼崎市、加古郡稲美町、加古郡播磨町、加古川市、高砂市、三木市）
- 分析方法 : D. I.（「良い」「増加」「上昇」の回答割合－「悪い」「減少」「下降」の回答割合）
 ※不変部分を除き、「良い」「悪い」のどちらの力がどれだけ強いかを調べる方法

指標	内容	プラス	マイナス
業況	調査時点での回答企業の業況「良い」－「悪い」	良い＞悪い	良い＜悪い
売上額	前期（四半期）と比較した売上「増加」－「減少」	増加＞減少	増加＜減少
収益	前期（四半期）と比較した収益「増加」－「減少」	増加＞減少	増加＜減少
販売価格	前期（四半期）と比較した販売価格「上昇」－「下降」	上昇＞下降	上昇＜下降
仕入価格	前期（四半期）と比較した仕入価格「上昇」－「下降」	上昇＞下降	上昇＜下降
人手過不足	調査回答時点での人手「過剰」－「不足」	過剰＞不足	過剰＜不足
資金繰り	前期（四半期）と比較した資金繰り「楽」－「苦」	楽＞苦	楽＜苦

設備投資企業割合 設備投資実施の有無

例

人手不足▲50とは

人手	(1)過剰 (2)やや過剰 (3)適正 (4)やや不足 (5)不足
----	-----------------------------------

↓ 回答数を集計し、回答割合を算出

	(1)過剰	(2)やや過剰	(3)適正	(4)やや不足	(5)不足	合計
回答数	35	35	210	280	140	700
回答割合	5.0%	5.0%	30.0%	40.0%	20.0%	100.0%

$$\text{人手不足} = \underbrace{10}_{(1)+(2)} - \underbrace{60}_{(4)+(5)} = \text{▲}50$$

【問合せ先】

淡路信用金庫 業務部

担当：^{みのだ} 簗田、^{もみのき} 樺木、^{みくら} 三倉

TEL：0120-22-1020

業種別地区別天気図

地区 業種	全事業地区 (673先)			淡路地区 (388先)			神明地区 (285先)		
時期	2021年 10～12月 (前期)	2022年 1～3月 (今期)	2022年 4～6月 (見通し)	2021年 10～12月 (前期)	2022年 1～3月 (今期)	2022年 4～6月 (見通し)	2021年 10～12月 (前期)	2022年 1～3月 (今期)	2022年 4～6月 (見通し)
総合									
製造業									
卸売業									
小売業									
サービス業									
建設業									
不動産業									

好調← →低調

全業種

前期

今期

来期



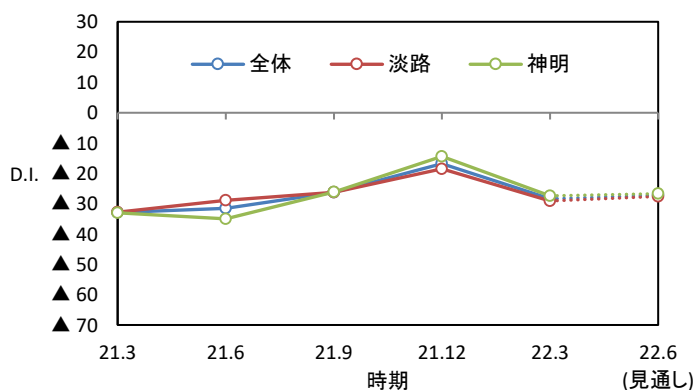
今期(2022年1～3月期)の業況は▲28.4となり、前期(2021年10～12月期)▲16.8に比べ11.6ポイントマイナス幅が拡大し、新型コロナウイルス感染の再拡大の影響が窺える。

項目別では、売上額は▲19.6(前期6.8)とプラスからマイナスに転じ、収益はマイナス幅が前期比25.4ポイント拡大し▲27.3となった。販売価格では15.3(前期16.6)と1.3ポイント減少し、仕入価格は53.6(前期52.9)

と0.7ポイント上昇している。

人手不足感については▲21.8(前期▲24.8)と3.0ポイント縮小、資金繰りについては▲6.7(前期▲3.4)と3.3ポイントの拡大となった。来期(2022年4～6月期)の業況については▲27.2と1.2ポイントの縮小を見込んでいる。他の項目でも、売上額・収益・などのマイナス幅は縮小する見込みであるが、依然としてコロナ禍収束時期の不透明感が反映されている。

業況判断D.I.の推移(地区別)



(D.I.)

	21年12月 (前期)	22年3月 (今期)	22年6月 (見通し)
業況	-16.8	-28.4	-27.2
売上額(前期比)	6.8	-19.6	-8.3
収益(前期比)	-1.9	-27.3	-13.4
販売価格(前期比)	16.6	15.3	14.0
仕入価格(前期比)	52.9	53.6	46.2
人手過不足(過剰-不足)	-24.8	-21.8	-23.3
資金繰り(楽-苦)	-3.4	-6.7	-6.8
設備投資実施企業割合(%)	18.5	16.1	16.5

製造業

前期



今期



来期



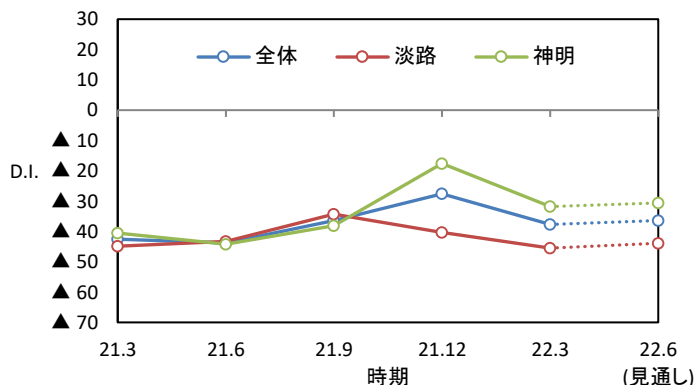
今期の業況は▲37.7(前期▲27.6)となり10.1ポイントマイナス幅が拡大となった。地区別の業況は、淡路地区▲45.5(前期▲40.3)と5.2ポイントの悪化、神明地区▲31.8(前期▲17.6)と14.2ポイントの悪化となった。来期については業況が▲36.4と1.3ポイント縮小の見通しで、売上額・収益もマイナス幅が縮小見込みとなっている。

お客様の声

オミクロン株拡大以前は飲食店等からの受注は回復傾向にあったが、年明け以降の感染拡大後は大幅に減少。また、原材料価格の上昇は現時点ではないが、資材・燃料関係の値上がり幅が大きく収益を圧迫している。(淡路)

医療関係の受注は、引続き高水準での推移が続いているが、断続的にコロナ禍の影響を受けている。観光産業館連の受注回復には期間を要する見通しである。原材料及び原油高騰の影響を踏まえた値上げ交渉を進めている。(神明)

業況判断 D.I. の推移 (地区別)



	21年12月 (前期)	22年3月 (今期)	22年6月 (見通し)
業況	-27.6	-37.7	-36.4
売上額(前期比)	2.0	-29.1	-6.0
収益(前期比)	-6.6	-29.8	-14.6
販売価格(前期比)	12.5	7.9	9.9
仕入価格(前期比)	59.2	60.9	48.3
人手過不足(過剰-不足)	-23.0	-20.5	-17.9
資金繰り(楽-苦)	-9.2	-13.2	-8.6
設備投資実施企業割合(%)	23.0	20.5	18.5

卸売業

前期



今期



来期



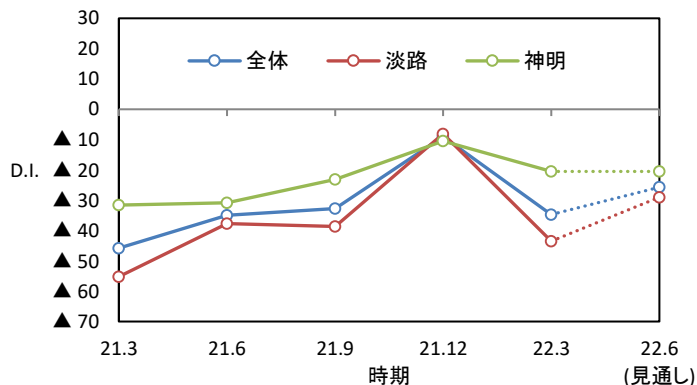
今期の業況は▲34.7(前期▲9.0)となり25.7ポイントマイナス幅が拡大となった。地区別の業況は、淡路地区▲43.5(前期▲8.1)と35.4ポイントの大幅悪化、神明地区も▲20.5(前期▲10.5)と10.0ポイントの悪化となった。来期は▲25.7と9.0ポイント縮小の見通しとなるが、依然として低水準にとどまる。また、売上額▲9.9、収益▲19.8と共に今期よりマイナス幅は縮小見込み。

お客様の声

主要取引先がコロナウイルスの影響を受けており、仕入値の上昇等も重なって厳しい経営環境が続いている。現在は既存取引先への支援に加え、新規出店情報など情報収集力を強化することで受注の確保に努めている。(淡路)

断続的なコロナ禍の影響により、国内では対面販売業態の営業時間短縮による来店客数の減少が影響し受注も減少。海外におけるロックダウンにより商品、部材の納入に大幅な遅れが発生し、一部商品の在庫不足が続いている為、国内製品の販売に注力している。(神明)

業況判断 D.I. の推移 (地区別)



	21年12月 (前期)	22年3月 (今期)	22年6月 (見通し)
業況	-9.0	-34.7	-25.7
売上額(前期比)	18.0	-16.8	-9.9
収益(前期比)	8.0	-22.8	-19.8
販売価格(前期比)	36.0	35.6	20.8
仕入価格(前期比)	50.0	49.5	41.6
人手過不足(過剰-不足)	-11.0	-5.9	-12.9
資金繰り(楽-苦)	0.0	2.0	-3.0
設備投資実施企業割合(%)	13.0	12.9	14.9

小売業

前期



今期



来期



今期の業況は▲42.6(前期▲37.1)となり 5.5 ㊦マイナス幅が拡大となった。地区別では、淡路地区▲37.8(前期▲38.6)とほぼ横這いであるが、神明地区▲54.5(前期▲33.3)では 21.2 ㊦の大幅な悪化見込みで依然として厳しい状況である。来期の業況は、▲36.5 と厳しい状況が続く見込みであるが、売上額・収益・などはマイナス幅が縮小する見通しである。

お客様の声

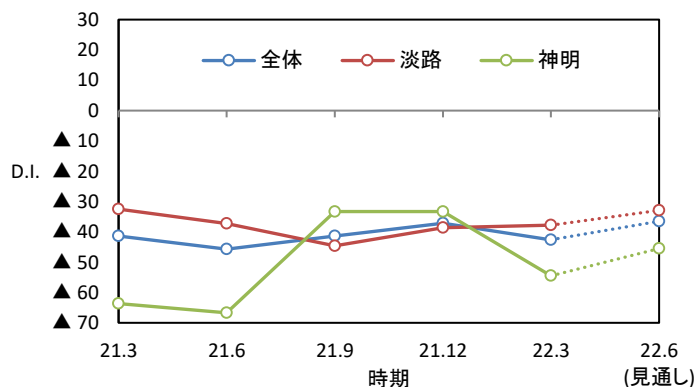
コロナウイルス感染拡大による外出自粛等の影響を受け、店舗への客足は減少傾向にある。また、三密を招く恐れがあるセール等の実施も自粛を余儀なくされ、目標売上高に必要なだけの集客を得る機会がない。

(淡路)

コロナ第 6 波の影響による集客力低下、主要原材料の価格高騰が利益を圧迫している状況にあり、主要商品の値上げ機をうかがうとともに、管理強化によりロスを減らしたい。

(神明)

業況判断 D. I. の推移 (地区別)



(D.I.)

	21年12月 (前期)	22年3月 (今期)	22年6月 (見通し)
業況	-37.1	-42.6	-36.5
売上額(前期比)	6.9	-35.7	-7.8
収益(前期比)	-7.8	-47.8	-12.2
販売価格(前期比)	18.1	27.0	23.5
仕入価格(前期比)	38.8	48.7	40.0
人手過不足(過剰-不足)	-19.8	-14.8	-16.5
資金繰り(楽-苦)	-8.6	-13.9	-16.5
設備投資実施企業割合(%)	17.9	10.4	13.0

サービス業

前期



今期



来期



今期の業況は▲40.5(前期▲16.5)となり 24.0 ㊦マイナスと大幅に拡大となった。地区別の業況は、淡路地区▲36.6(前期▲15.7)、神明地区は▲46.7(前期▲17.8)と共に悪化し、新型コロナウイルス再拡大の影響が大きい。来期の業況は▲30.2 とマイナス幅は縮小傾向にはあるが、コロナ禍収束の不確実性から先行きは厳しい見通しである。

お客様の声

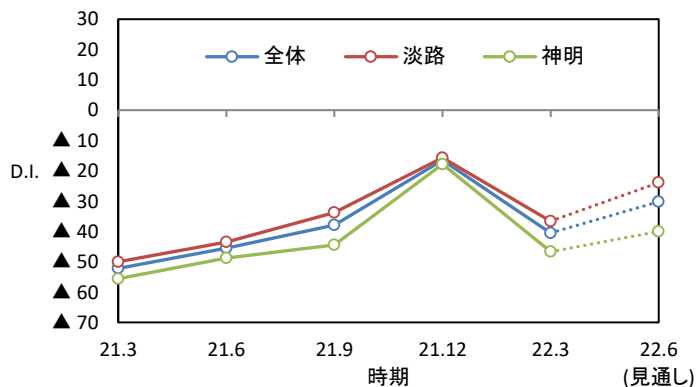
SNS での情報発信等、積極的な営業活動を行っているが、まん延防止の影響により損益分岐点売上高の確保には至っていない。人件費等の販管費負担の見直しを行い、新分野への事業展開を含め収益状況の改善を図っていく。

(淡路)

コロナ禍前までの荷物取扱量には回復せず、売上高は予想より低迷している。新たに人員を採用したものの、稼働しているトラックは減少しており人余りの状況。従業員の高齢化、退職した際の新たな人員募集については不安要素で、課題である。

(神明)

業況判断 D. I. の推移 (地区別)



(D.I.)

	21年12月 (前期)	22年3月 (今期)	22年6月 (見通し)
業況	-16.5	-40.5	-30.2
売上額(前期比)	8.7	-29.3	1.7
収益(前期比)	1.7	-37.9	-5.2
販売価格(前期比)	13.0	4.3	8.6
仕入価格(前期比)	45.2	42.2	41.4
人手過不足(過剰-不足)	-33.0	-30.2	-34.5
資金繰り(楽-苦)	-7.8	-13.8	-6.9
設備投資実施企業割合(%)	20.9	15.5	16.4

建設業

前期



今期



来期



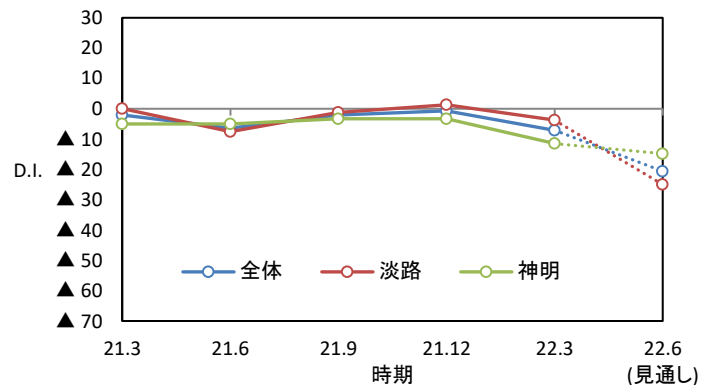
今期の業況は▲7.1(前期▲0.7)と6.4ポイントマイナス幅が拡大となった。地区別の業況は、淡路地区は▲3.8(前期1.3)と5.1ポイント悪化、神明地区は▲11.5(前期▲3.3)と8.2ポイント悪化となった。来期は▲20.6ポイントさらに悪化となる見通しである。人手過不足については▲39.7と依然として慢性的な人手不足の状態が窺える。

お客様の声

依然としてコロナ関連補助金を背景とした設備案件は増加傾向にある。しかし、半導体不足や製造工場の稼働停止等により納入が遅延し、設備工事への納期がずれ込むなどの影響がある。また、資材価格の高騰や同業者間の価格競争も激化し、不安材料は多い。(淡路)

コロナ禍でも現場工事は感染対策を徹底しながら通常稼働している。しかし、材料価格の上昇及び慢性的な人材不足が続いていることから、代替品の確保や納期の調整等に努め、労働環境を整備することで人員の確保を図っている。(神明)

業況判断 D.I. の推移 (地区別)



(D.I.)

	21年12月 (前期)	22年3月 (今期)	22年6月 (見通し)
業況	-0.7	-7.1	-20.6
売上額(前期比)	1.4	-0.7	-23.4
収益(前期比)	-5.7	-14.9	-21.3
販売価格(前期比)	8.5	9.2	9.2
仕入価格(前期比)	72.3	70.2	63.8
人手過不足(過剰-不足)	-38.3	-39.7	-39.7
資金繰り(楽-苦)	5.7	2.1	-2.8
設備投資実施企業割合(%)	16.3	18.6	18.4

不動産業

前期



今期



来期



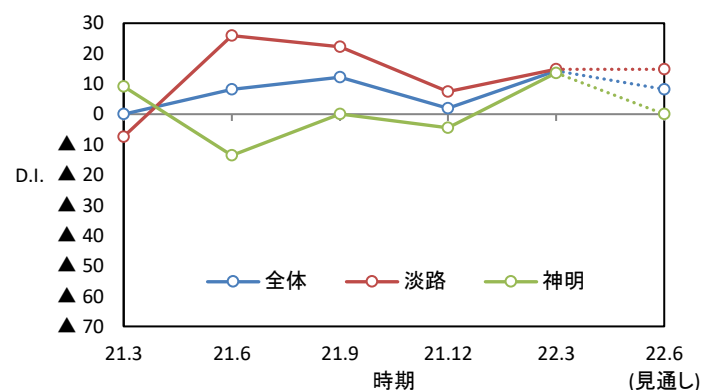
今期の業況は14.3(前期2.0)と12.3ポイント改善となった。地区別の業況は、淡路地区は14.8(前期7.4)と7.4ポイント改善しプラス水準を維持している。神明地区は13.6(前期▲4.5)と18.1ポイント改善した。来期の業況では淡路地区は横這いの見通しであるが、神明地区は0.0まで低下する見込みである。

お客様の声

移住やリゾート地としての需要の高まりから都市部からの売買、賃貸に関する問い合わせや商談が引き続き増加している状況。今後もしばらく物件数が不足する傾向が続くと予想される。(淡路)

新型コロナの影響の長期化により、入居率が徐々にではあるが低下している。特に飲食店等の入居テナントビルは、緊急事態宣言やまん延防止法の発令により、次の入居希望者がなかなか決まらない。(神明)

業況判断 D.I. の推移 (地区別)

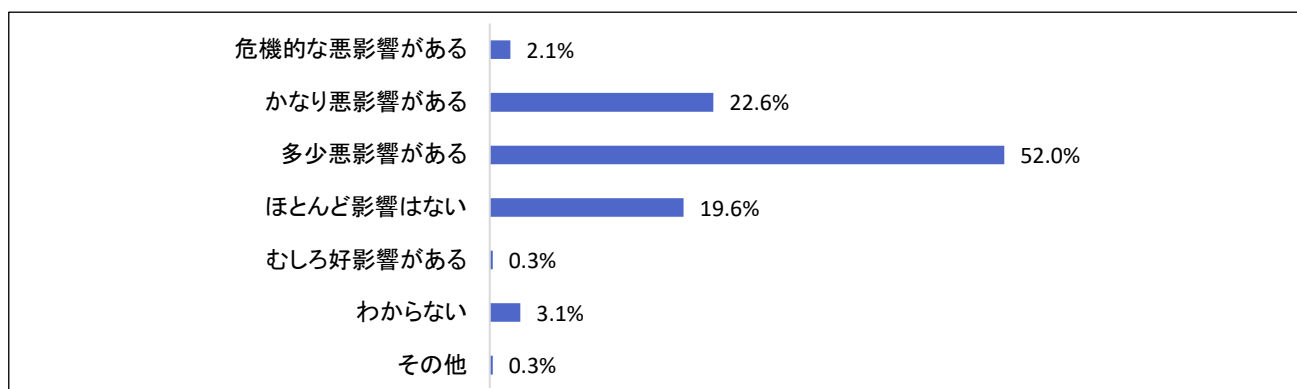


(D.I.)

	21年12月 (前期)	22年3月 (今期)	22年6月 (見通し)
業況	2.0	14.3	8.2
売上額(前期比)	10.2	10.2	6.1
収益(前期比)	8.2	8.2	4.1
販売価格(前期比)	18.4	12.2	16.3
仕入価格(前期比)	34.7	30.6	24.5
人手過不足(過剰-不足)	-12.2	-4.1	-4.1
資金繰り(楽-苦)	4.1	4.1	2.0

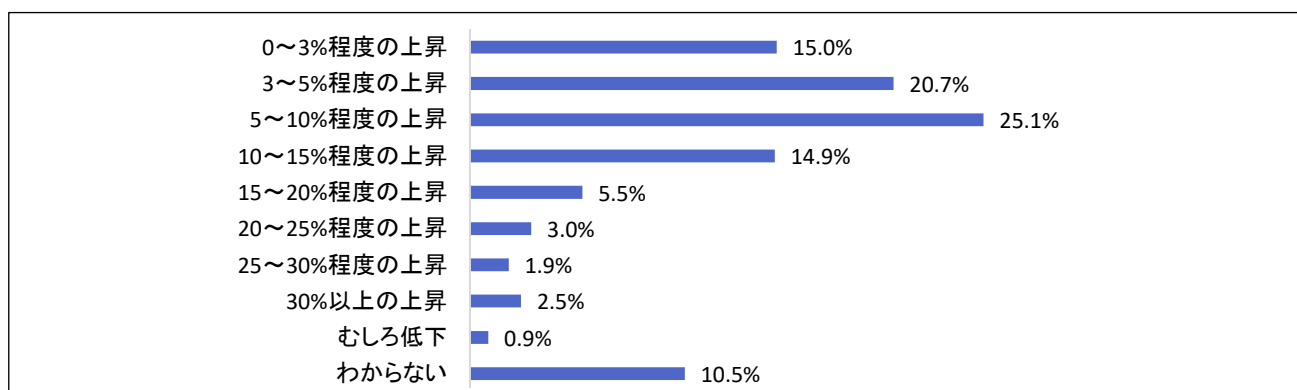
問1 最近の原材料・仕入価格の上昇による収益への影響

最近の原材料・仕入価格の上昇による収益への影響については、「悪影響がある」（「危機的な」・「かなり」・「多少」の項目含む）との回答が76.7%を占め、7割以上が何らかの悪影響を受けている結果となった。地区別でも、淡路地区は、「多少悪影響がある」が最も多く50.2%、次いで「かなり悪影響がある」が23.7%と回答した。神明地区も、「多少悪影響がある」が最も多く54.3%、次いで「かなり悪影響がある」が21.1%と地区別の差はそれほどない。業種別でも全業種で「多少悪影響がある」の割合が一番多くなっている。



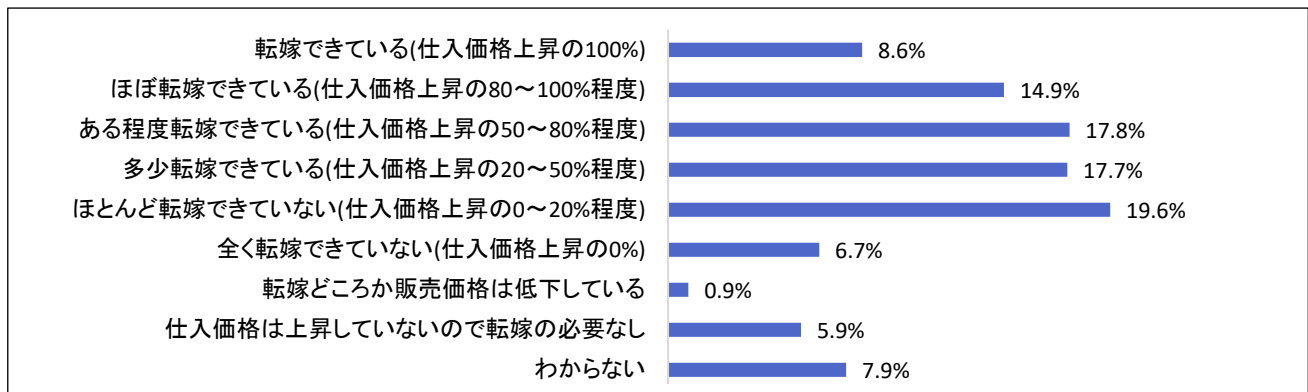
問2 原材料・仕入価格の1年前と比較した変化

原材料・仕入価格の1年前と比較した変化については、「5～10%程度の上昇」の回答が25.1%と最も多く、以下「3～5%程度の上昇(20.7%)」、「0～3%程度の上昇(15.0%)」が続き、全体の6割の企業で仕入価格上昇は10%以下となった。一方、10%以上上昇した企業は全体の3割弱となった。淡路・神明地区別でも「5～10%程度の上昇」の回答が最も多いが、業種別では「3～5%程度の上昇」、「5～10%程度の上昇」が多くを占めている。



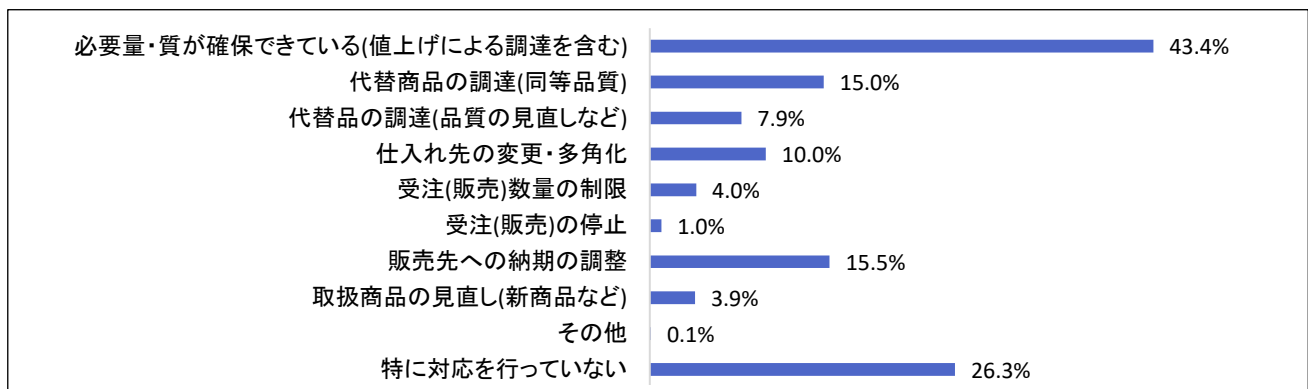
問3 販売価格に転嫁できている割合

原材料・仕入価格の上昇のうち販売価格に転嫁できている割合については、「ほとんど転嫁できていない」の項目が19.6%と最も多いが、「転嫁できている」（「ほぼ」・「ある程度」・「多少」の項目含む）との回答が59.0%を占め、全体の6割弱となった。淡路地区では「ほとんど転嫁できていない」の項目が最も多く、神明地区では「多少転嫁できている」の項目が最も多くなっている。業種別では製造業やサービス業で価格転嫁が進んでいない企業が多くみられた。



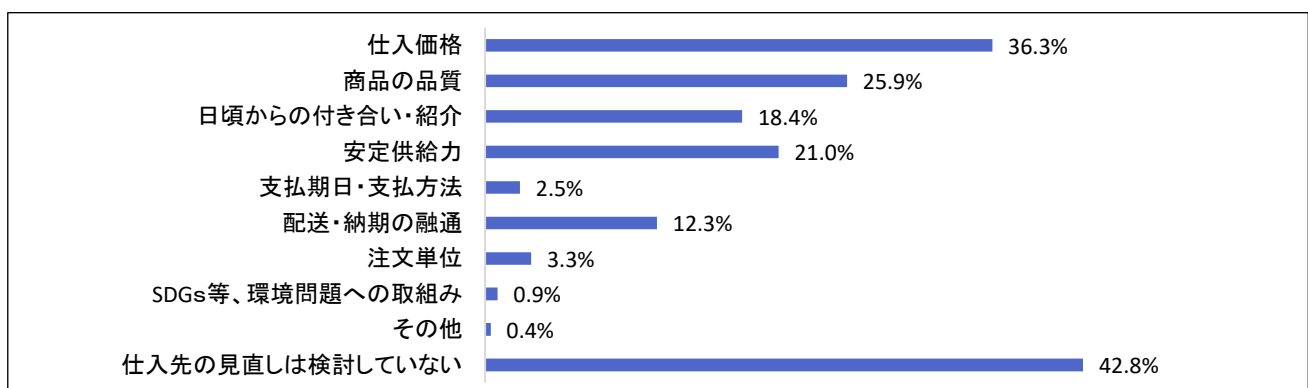
問4 各種資材や製商品の量や質の確保状況と対策

調達遅延、数量確保困難などといった声も聞かれているなかで、「必要量・質が確保できている」の回答で43.4%となった。確保ができていない企業が行っている対策については、「販売先への納期の調整(15.5%)」が最も多く、次いで「代替商品の調達(同等品質)(15.0%)」となった。また、「特に対応を行っていない」は26.3%となった。地区別では、淡路・神明地区共に差はなく「必要量・質が確保できている」の項目が最も多いが、次いで「特に対応を行っていない」の項目も多くなっている。業種別では、不動産業を除き「必要量・質が確保できている」が最も多くなっている。



問5 仕入先の見直し等を検討するにあたって重視する点

仕入先の見直し等を検討するにあたって重視する点については、「仕入先の見直しは検討していない」が42.8%と最も多くなった。一方、仕入先の見直しを検討していると回答した中では「仕入価格(36.3%)」が最も多く、次いで「商品の品質(25.9%)」となった。地区別では、淡路・神明地区共に差はなく「仕入先の見直しは検討していない」の項目が最も多く、次いで「仕入価格」の項目が多くなっている。業種別では小売業・サービス業・建設業・不動産業は「仕入先の見直しは検討していない」の割合が最も多くなっている。



わたしたちのマチの元気企業 ②③



株式会社 富永組



弊社は、昭和 50 年の創業以来、共に働く方々との永続かつ良好な関係を大切に、型枠施工・加工専門の建設会社として、近畿一円でマンション、学校、病院、介護施設などを手がけてまいりました。規格品大量生産の時代から、個性的で多様な需要への移り変わりや、市場の複雑化に象徴される環境の激変にあたり、常に安全・信頼・真心をもって、豊かで快適な暮らしの基盤造りを行っております。また、躯体工事はもちろん、単なる加工などの技能向上だけではなく、高度な施工管理能力の保持、向上による環境保全、ならびに建設現場全体の品質向上を常に意識した取り組みを行っております。一方で、弊社による国内初の開発となる Windows 版型枠階段・勾配加工機の導入により、最新技術を積極的に活用した製作や加工の精度向上、短納期化および現場での作業軽減を実現しております。今後も最良品質の型枠製作、加工、および施工をご提供するための研鑽を積み、より良い地域社会の基盤形成を通じ、豊かな暮らしに寄与することを目指してまいります。

《施工実績》

【㈱高階・障害者支援施設ゼノの村新築工事】



【明石土建工業㈱・兵庫県立神戸西部新設

【㈱村上工務店・ワコーレザ・六甲プレミアム新築工事】

高等特別支援学校管理・普通教室棟工事】



商号 株式会社富永組 代表取締役 富永 修 資本金 2,000 万円

従業員数 16 名（令和 3 年 3 月現在）・一級建築施工管理技士 2 名・二級建築士 2 名
・一級型枠施工技能士 1 名・登録型枠基幹技能者 1 名

許可番号 知事許可(般 3)第 108241 号：建築工事業 大工工事業 とび・土工工事業

本社所在地 〒651-2137 神戸市西区玉津町出合 205-4

事務所・資材センター 〒651-2321 神戸市西区神出町宝勢 521-36
TEL:078-965-0646 FAX:078-965-0828

押部谷第 2 資材センター 〒651-2206 神戸市西押部谷町和田 489-88

主要取引先：㈱長谷コーポレーション・㈱森組・㈱村上工務店・㈱高階・明石土建工業㈱他

わたしたちのマチの元気企業 ②4



あたたかい笑顔と
自慢のお料理で
皆さまをお迎えいたします

四季の活魚と本場はも料理

淡路島の木村屋旅館は兵庫県の最南端にある沼島にあり、夏のシーズン中には多くの方が鰻料理を楽しまれております。

四季折々の海鮮料理や、国生み伝統の舞台といわれている沼島でおのころ神社、上立神岩などの名所巡りやグルメなどをゆっくりとお楽しみ下さい。



鰻の料理



お取り寄せ 鰻すきセット



沼島

NUSHIMA

自然とロマンを秘めた小島

国生み伝説を物語る
海の楽園「沼島」。

雄大な自然と伝説に触れる島。
瀬戸内海国立公園の一部で
世界でもフランスと沼島でしか
見られない鞘型褶曲など
沼島でしか見られない景色が
待っています。

料理旅館 木村屋
〒656-0961
兵庫県南あわじ市沼島 899
TEL: 0799-57-0010
FAX: 0799-57-0800

沼島は兵庫県淡路島の
南に約4キロの瀬戸内海に
浮かぶ島です。
木村屋旅館は港から
徒歩約10分のところにあります。



沼島って？
木村屋旅館はどこにあるの？